

April 2011

徳島県博物館協議会

NO. 36

ニュース

<目次>

- 「今、わが館では…」 …… 1・2
 - 海陽町立博物館 ○三好市井川ふるさと交流センター民俗資料館
- 「情報コーナー」 …… 3
 - 日和佐うみがめ博物館 ○鳴門市ドイツ館
 - 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

- 「情報コーナー」 …… 4・5・6
 - 大塚国際美術館 ○藍住町歴史館「藍の館」
 - あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）～阿波木偶資料館 ○Jパワ－よんでんWanダーランド ○徳島県立近代美術館
 - 大鳴門橋架橋記念館 ○あすたむらんど徳島子ども科学館 ○上板町歴史民俗資料館

「今わが館では…」

阿波海南文化村 海陽町立博物館

本年度は、海部刀・大里古銭・大里古墳・民具といった常設展示の他に、当館では過去もっとも多い5つの展覧会を開催しました。

第28回企画展「阿波忌部と海部」(5/1～5/30)では、徳島県立博物館の協力を得て、本県の阿波忌部と海部に関係する歴史資料や考古資料を紹介しました。大里古墳の出土品等の館蔵資料も展示し、旧徳島県歌にも謳われているいにしへの阿波国の忌部と海部伝承の深層にも迫ってみました。

第29回企画展「刀装具名品展」(7/24～8/29)では、刀の塗りの鞘や、鐔や小柄等の彫金にスポットを当てた展示を行いました。県内所蔵の名品等々、日本刀の総合的な美の世界を楽しめるように企画しました。

巡回展「海を渡った人形と平和への願い」(9/23～10/3)は、徳島平和ミュージアムプロジェクト実行委員会により実施されました。昭和初期に、日米間で友情と平和の使者

として交換された人形の中の、本県に唯一残る青い目の人形アリスと答礼人形ミス徳島をメインにした展示で、原田一美著『青い目の人形』の挿絵の原画もご覧いただきました。

第30回企画展「中国雲南版画展」(10/30～11/28)は、那賀町の相生森林美術館所蔵品より中国雲南版画作品の一部を借用して開催しました。水性や油性の絵の具を用いた雲南の木版画には独特の味わいがあり、相生番茶と似たお茶の文化が雲南省にあることも紹介しました。

「船大工が作った模型船」の展示(2/27～4/10)では、造船一筋に生きてこられた町内鞆浦の須藤三郎さんが製作した、木造船のミニチュア模型を陳列しました。消えゆく木造船の姿を残したいと、江戸から昭和中期までの様々な種類のミニチュアの木造船が再現されました。

また新しい事業として、「ふるさと発見講座」を開講しました。海陽町や阿波に関するテーマで各専門分野の講師をお迎えし、



「船大工が作った模型船」(企画展示室にて)



第1回ふるさと発見講座 10/24(当館エントランスロビーにて)

次年度以降も継続していく予定です。

文責 郡司 早直 (同館学芸員)

〒 775-0202 海部郡海陽町四方原字杉谷 73

Tel. : 0884-73-4080

「今わが館では・・・」

三好市井川ふるさと交流センター 民俗資料館

「凌雲文庫について」

平成4年に三好市井川ふるさと交流センター（当時は井川町ふるさと交流センター）が開設され、1階を民俗資料館として開放している。この資料館の一隅の書棚に「凌雲文庫」と称して古い本が約250冊程並べられている。



この凌雲文庫は、明治中期頃、井内谷村（現三好市井川町井内）出身の阿佐松蔵（凌雲）が、当時の井内小学校長阿佐宇治郎（昭和28年刊『井内谷村誌』の編者）に蔵書1千余冊を送り、文庫の設立をすすめたのが始まりである。阿佐校長は、直ちに有志にはかり、寄付金をつのって、明治37年（1904）1月17日、井内小学校内に凌雲文庫を設立した。徳島県では3番目に古い社会教育を対象にした図書館であった。

大正8年（1919）の徳島県図書館統計によると、県下の許可図書館52館中、創立第3位、蔵書数第5位（3,175冊）、平均入館者数

18.30人／日、平均冊数63.43冊／日で、郡部の図書館にとって驚異的な数値である。

設立以後、凌雲先生から送本が相次ぎ、有志の寄贈もあって次第に蔵書も増加して、村議会の決議によって村営となり、経費も村費となった。と同時に賛助会員を求め、この寄付によって強化・維持されてきた。44名いた賛助会員の中には、井内谷村以外の氏名も13名あり、その中には東京在住者も7名を数えた。著名な明治・大正の文豪徳富蘇峰や男爵箕作俊夫などが名を連ね、凌雲文庫の雄大さがひしひしと感じられるのである。昭和に入り、日中戦争が始まった頃からか、時代の混乱の中で図書も次第に散逸していったようである。

井内小学校の図書館に保存されていた「凌雲文庫印」のある図書210冊が、現在この「井川ふるさと交流センター民俗資料館」に移されて、希望すれば閲覧できることになっている。これらの図書の内容は明治時代さらには江戸時代の珍しい貴重な書籍で、正徳2年（1712）という約300年も昔の木版のものも混じっている。例えば、漢籍国字解全書（31巻）、康熙字典（6巻）、漢楚軍談（18巻）、通俗三国史（50巻）、太宗軍談（20巻）等が含まれる。

凌雲文庫の解説書によると、このような珍しい貴重な本を備えることで永久に我等の先祖の偉業を称えと共に、ふるさと交流センターの図書館や民俗資料館も凌雲文庫の精神を引き継ぎ、発展してもらいたいという願いが込められているのである。

凌雲文庫は古い図書台帳によって2千冊以上の書籍が存在していたことが確認できるが、その大半はその散逸して現在では数少なくなってきた。しかし、その名称は古くから知られていて、井内谷村民、いや三好地方の人々の文化的、精神的支柱となって多くの人々の底に残されているのである。

ちなみに阿佐松蔵（凌雲）は、東京で私立学校「養徳学園」を経営して成功し、その後東京市へそれを寄贈し、さらに実業界に進出し財を成したと伝えられている。

文責 大岩 義雄 (同館職員)

〒 779-4802

三好市井川町岡野前64

Tel. 0883-78-4311

情報コーナー

日和佐うみがめ博物館

「博物館のリニューアルについて」

昨年は、NHK 連続テレビ小説「ウェルかめ」の影響もあり、たくさんの方が、博物館を訪れてくれました。そのおかげでほんの少しですが博物館の改装することが出来たので今回紹介します。

当館は、1965 年から、水族館として運営しており、現在、飼育研究棟として使っている「旧水族館」と外にある「大ガメのプール」は特に老朽化が進んでいました。そのため今回はこの2つの施設を改装することになりました。

旧水族館部分は、2つの水槽を設け、深い水槽の中で色々な場所からカメの生態が観察できるようなコンセプトになっています。

大ガメのプールは、とりわけ古い飼育施設であったため、カメに負担がかかりやすく、カメにとって大切なツメやクチバシが磨り減ってしまったり、ぶつかって怪我をしたりすることがありました。新しいプールでは樹脂でコーティングし、カメが怪我しないようになっています。また、明るい色合いになりそのなかで泳ぐカメは、とても鮮やかに見えますと思います。

現在はまだ工事中で、3月末から4月上旬に完成の予定です。新しいウミガメ博物館を是非見に来て下さい。

また、本館は今年の3月より、県の登録を受け、「博物館相当施設」となりました。新たに教育や事業展開、研修生受け入れなどにも力を入れて活動したいと思っていますので、是非ご利用ください。



プールは明るい色合いになりました。
もう直ぐカメが泳げるようになります。

〒779-2304
海部郡美波町日和佐浦 370-4 ☎0884-77-1110

鳴門市ドイツ館

★第8回ドイツワイン祭り

5月3日(火)・4日(水) 10:00～16:00

1階ホール 入場無料

厳選された100種類のドイツワインが勢ぞろい。

販売はもちろん、試飲も楽しんで頂けます。会場ではクラシックコンサートも開催。

★ドイツ館の鉄道会

日独交流150周年記念事業

5月22日(日) 10:00～16:00

1階ホール 入場無料

子どもから大人まで、みんなで鉄道を楽しめるイベントです。

「見る」「乗る」「学ぶ」「運転する」という4つのお楽しみが、みんなを待っている!

会場では“鉄道博士”たちが、鉄道のことを何でも教えてくれるよ。

さあ、みんなで楽しもう!



〒779-0225
鳴門市大麻町松字東山田 55-2
Tel: 088-689-0099

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「阿波人形浄瑠璃」

- 阿波十郎兵衛屋敷では、毎日 11:00～14:00 に徳島の郷土芸能、阿波人形浄瑠璃を上演しております。
- 4月17日(日)に春期人形浄瑠璃大会(振興会主催)を開催いたします。
- 屋敷内の母屋では、NHK徳島文化センター写真・西田茂雄塾「阿波人形浄瑠璃の世界」写真展を開催しております。



〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦 184
Tel. 088-665-2202

情報コーナー

大塚国際美術館

「大塚国際美術館 2011 年上半年期 催し物のお知らせ」
 大塚国際美術館では、御来館のお客様に少しでも楽しい時間を過ごして頂こうと、様々なイベントや講演会やコンサートを企画しております。2011 年の上半期（4 月～9 月）の催し物をご紹介します。（※7・8 月は無休）

I. イベント

- ①『ヨーロッパ美術散歩』4/1（金）～9/30（金）
 4・5 月「散歩に出よう！王室編」
 6・7 月「散歩に出よう！ヨーロッパ北部編」
 8・9 月「散歩に出よう！情報のパリ編」
- ②大塚国際美術館でみる「怖い絵ツアー」
- ③西洋名画「男前列伝」

II. レクチャー

美術講座 5/8 福のり子先生
 7/8 長塚安司先生

III. イグジビション

- 4～5 月「陶と建築の写真展&陶によるフィギュア展」
- 6～7 月「文化人・芸能人の多才な美術展」

IV. コンサート

- 5/21（土）「コダーイ弦楽四重奏コンサート」
- 7/2（土）「名曲で描く聖書の世界コンサート」

V. 子供向けワークショップ

GW 期間中「親子でめぐるさんぽ MAP」
 7～8 月「夏休み子どもプログラム
 名画で体験ドイツめぐり」



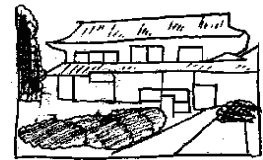
〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 65-1

☎ 088-687-3737

藍住町歴史館「藍の館」

「阿波藍発見！」

- 藍染め体験コーナーでの自分が染めたい古いシャツ等の持ち込みによる体験
- 徳島の伝統産業である阿波藍と木工職人の二つの異業種によるコラボレーションから生まれた藍の家具展示。
- 阿波藍の訪問授業
 徳島の小・中・高校（23 校）に訪問授業を行い、藍の文化や歴史等の勉強と藍染め体験をして、地域の伝統文化を次世代に継承し、活性化することを目的で行った。



〒771-1212 板野郡藍住町徳命字前須西 172

☎ 088-692-6317

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）～阿波木偶資料館～

「阿波木偶資料館（常設展示・無料）」

当館 5 階にて阿波人形浄瑠璃の木偶カシラ・衣装・小道具類を展示している。木偶カシラは、種類別、時代別また作者別に展示している。

なお、13:00～16:00 の時間帯には、阿波木偶資料館に解説員が待機しており、木偶カシラや阿波人形浄瑠璃に対する質問等に対応している。



〒770-0835 徳島市藍場町 2-14

Tel. 088-622-8121

情報コーナー

JパワーよんでんWaンダーランド

[4月～6月の催し物案内]

◎3月25日～4月7日：橋湾石炭火力発電所 春休み個人見学会

① 10:30～ ② 12:30～ ③ 14:30～
定員：1回6名様まで（小学生以上）

*申込方法：お電話または直接スタッフまでお問い合わせ下さい。

◎4月29日～5月5日：ゴールデンウィークイベント（期間中無料）

☆こども写真展（4月29日～5月5日）

対象：小学生以下

・携帯電話カメラで撮影したWaンダーランドでの画像を募集します。ご応募の中から優秀作品を決定いたします。

☆バルーン教室（4月30日）

① 11:00～ ② 14:00～

☆ふれあい動物園（5月1日）

10:00～ 16:00

☆マジックショー＆教室（5月3日）

① 11:00～ ② 14:00～

☆占い〔西洋占星術・カード・手相〕（5月4日）11:30～16:30〔先着50名様〕

☆リサイクル工作（5月4日）

13:00～15:00

☆あめ細工ショー（5月5日）① 11:00～

② 13:00～ ③ 14:00～ ④ 15:00～

*かわいいあめ細工がもらえます

☆アロマハンドマッサージ（5月5日）

11:00～ 16:00〔先着50名様〕

・サンデーイベント（毎月第3日曜日開催）

：小学生対象 ① 11:00～② 14:00～各20名（先着順）

★4月17日「母の日コサージュ」

★5月15日「シャボン玉アート」

★6月19日「お父さん写真立て」

◎6月26日（日）：キャラクターショー

（観覧無料）① 11:00～ ② 14:00～

*ショー終了後にはキャラクターとの撮影会があります。カメラをお持ち下さい。



〒779-1620 阿南市福井町
舟端1番地
Tel. 0884-34-3251

HP (<http://www.jy-wonderland.jp>)

徳島県立近代美術館

「特別展 森口ゆたか ―あなたの心に手をさしのべて」

平成23年4月29日（金・祝）～6月26日（日）
触れ合う手、絡み合う紐などが、映像として浮かび上がる会場。そこには、かかわり、つながり合おうとする生命の姿が温かく提示されています。森口ゆたかは、揺るがない人間存在への敬意や慈しみに満ちあふれたインスタレーションを手がけ、生命や個人が尊ばれない現代社会において、明快なメッセージを発する作家です。生きづらく、人々の心が疲弊している今、森口は、作品を通じて改めて、アートの役割を鮮やかにみせてくれるでしょう。



<LINK> 2007年

〒770-8070

徳島市八万町向寺山 ☎088-668-1088



大鳴門橋架橋記念館

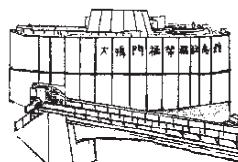
「好奇心くすぶる渦と橋のミュージアム」

大鳴門橋架橋記念館エディでは、春休み限定企画として、エディと大鳴門遊歩道渦の道の「共通券」を購入されたお客様にオリジナルクリアファイルをプレゼント!!

その他のイベント・特典等はホームページをご覧ください。

※お知らせ

ゴールデンウィークは、8時から18時まで開館します。



〒772-0053 鳴門市鳴門町
土佐泊浦字福池

☎088-687-1330

HP (<http://www.uzunomichi.jp>)

情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

●プラネタリウム

HAYABUSA BACK TO THE EARTH

2010年6月に地球帰還を果たした「はやぶさ」の波乱と感動に満ちた冒険の旅が、実写と見間違えるほどのリアルなCGでドームいっぱい広がる！毎日13：10から投映
※スケジュールが変更になる場合がありますので、詳しくはHPまたは電話でお問い合わせ下さい。

※番組投影のみで星空解説はありません。

●子ども科学館

○鉄道模型とあそぼう！

新幹線をはじめ、約100輛のHOゲージ鉄道模型が大集合！屋外ではミニ電車に乗れるよ！

場 所 子ども科学館展示ロビー・屋外

開催日 4月9日(土)、10日(日)

時 間 ①10:00~12:00 ②13:00~16:00

参加費 子ども科学館常設展示の観覧券が必要

○あすたむらんど徳島開園10周年記念イベント

環境と彫刻「あすたむらんどアートプロジェクト」

アートを楽しみながら、水や環境について考えてみませんか。

場 所 子ども科学館 水鏡

催 日 4月28日(木)~6月21日(火)

時 間 9:30~16:30

参加費 子ども科学館常設展示の観覧券が必要

あすたむらんど徳島では、春休みや、GWなど、たくさんのイベントを用意して皆様のお越しをお待ちしております。

各イベントの詳細については、催し案内かHPでご確認していただくか、お電話でお問い合わせください。



〒779-0111 板野郡板野町那東字キビガ谷45-22

Tel. 088-672-7111

HP. <http://www.asutamuland.jp/m/>

上板町立歴史民俗資料館

『観音道参道ウォークについて』

去る1月16日(日)、上板観音道保存会主催で、観音道の周知を目的とするウォークを実施した。

観音道は、上板町神宅の大山寺から同町泉谷の和泉寺までを結ぶ参拝道である。道沿いには28体の観音菩薩や地蔵(石仏)等があり、その建立時期は、周辺の道標の刻印等から、江戸時代末期頃だと考えられる。

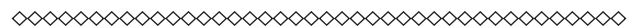
このウォークは、町内外から約110名が参加し、道中の観音菩薩や地蔵、炭焼き窯跡の見学を5時間ほどかけて実施した。参加者からは「昨年も参加したが、整備ができていてとても歩きやすかった。石仏等を見ると、とても癒され、どのような思いで造られたのだろうと想像しながら歩いた。またこのような機会があれば参加したい」等の意見を聞き、とても好評であった。また、当館を見学された参加者もいて、PRすることができた。



(観音十三番)

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1

Tel. 088-694-5688



徳島県博物館協議会ニュースNo.36

平成23年4月1日 発行

編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山

徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL. 088-668-3636

FAX. 088-668-7197